

We're!

Let's hold hands



We're! は「まちづくり団体」



イワツキ家守舎
iwatsuki.yamorisya



キラリいわつき
岩槻情報サイト KIRARI IWATSUKI



「岩槻家守舎」と「キラリいわつき」が中心にイベント企画を担当。
音楽イベントが絡む場合は「岩槻Jazz」さんにも企画に参加して頂いています。
WATSUさんや埼玉高速鉄道さんをはじめ多くの方にサポートして頂きながら
岩槻の小さな「楽しい」を日常化できるよう日々活動しています。

We're! の始まり

新型コロナの感染が広がる中「何か岩槻の為に出来る事はないか」と個別で活動していたメンバーや自分たちが出来る事を模索していたメンバーが集まり動き始めました。



別府で街を応援するプロジェクト「別府エール飯」さんの活動に共感し同じ仕組みで岩槻でもやらせて頂く許可を頂き「岩槻エール飯」を始めたのがこのチームのきっかけになります。

見えない敵だったコロナとの付き合い方を徐々に見つけ出した世の中が「with コロナ」になった頃 人も動きだし止まっていた時間が流れ始めたのを感じました。メンバーも各々が動き出せる状況になり「岩槻エール飯」から別の形で街に関わるようになりました。それが現在の「We're!」になります。

We're! とは?

We're!は自己満足の為にイベントを仕掛けている団体ではありません。

様々な街のイベント視察に出かけ岩槻の問題点を浮き彫りにし実践で試みています。

「ベンチを会場に置いた場合どのような効果が得られるか」

「いつイベントを仕掛けると効果的か」

「人が来ないと言われている真冬のイベントにどのような企画であれば人を集められるか」

など、メンバーそれぞれのスキルを活かし課題に向かって企画を練り上げ

実証実験の意味合いも含んだイベントを開催します。

We're!のポスターはイベントに興味をもって頂けるようデザインに力を入れ余計な情報は一切いれません。

そして実際に「こんなに盛り上がっている岩槻をみた事がない」と言わせてしまうような情景を提供できるように仕掛けや仕組み作りに力を入れています。

その情景をみた方は「岩槻って凄い!」と言ってくれるようになり、その話題がどんどん広がっていきます。

イベントで得られたデータはWATSUストリートマルシェさんや良好な関係の団体さんに情報を共有します。

同じ目線で活動している団体さんとは協力していき岩槻の盛り上げに繋げていけるようにしています。

小さな団体ですが「小さな楽しいを日常化」できるよう街の仲間と連携し岩槻を楽しい街に!

そして岩槻に住みたいと思える環境を構築できるよう仲間を増やしていく事がこれからの目標です。



イワツキ家守舎

iwatsuki yamorisya



- ・上村明日香 (代表/エンジニア/デザイナー)
- ・金子慎太郎 (大工)
- ・木津大輔 (設計)

第1回岩槻リノベーションまちづくりのスクール出身者で

「カフェ Chatora」と「シェアオフィス Co.Tora」を事業化。

合同会社 岩槻家守舎として運営を行っています。

奇数月にはお店を構える「栄町通り商店街」の通りを利用した「プチマルシェ」を開催。

第2回リノベーションスクール事業化の「Nook&Park」や「MIYATAYA BAGEL」

第3回のスクール出身チーム「ito」「部活商店」とも連動企画を行ったりしています。

2023年6月からChatoraはシェアキッチン事業に完全移行。

2階のシェアオフィスも新しい事業案件に移行します。

また空き地や空き家をプレイヤーたちとマッチングさせコンテンツをまちに増やす業務も行っていきます。

キラリいわたし
岩槻情報サイト KIRARI IWATSUKI



- ・鈴木真人 (デザイナー/Webデザイナー/映像/音響)

2018年に岩槻のお店のホームページを制作した事がきっかけで

岩槻のネット事情を知る事に。検索をしても過去の情報ばかりで未来の情報が出てこない。

20年以上インターネット業界に携わっているスキルを活かし

岩槻の情報サイト「キラリいわたし」を立ちあげ。2023年度中には100万ビューも達成可能なサイトに育ってきています。特に20~40代女性に支持されているサイトとSNS。

ターゲット層に喜ばれるような情報を発信しています。

「キラリいわたし」「We're!」「岩槻盛り上げ隊」のデザインやコンテンツ開発・映像などのプロデュースも行っていきます。





- 今村信哉 (岩槻Jazz代表)
- 今村玲子 (We're!イケイケ隊長)

歴史ある岩槻の街に「ジャズやラテン」が流れ、その音楽を中心に人の輪ができれば…。そんな思いをもって音楽活動をしているのが「岩槻Jazz」さん。

様々なイベントに出演をされていますが軸にしているのが毎月開催の「WATSUストリートマルシェ」で音楽ステージの企画・運営をされています。

そしてクリスマス時期に市民会館いわつきで行う「岩槻Jazz」は毎年満席という凄さ。

岩槻家守舎の「木津大輔」とキラリいわつきの「鈴木真人」は岩槻Jazz実行委員メンバー。その繋がりもあり今村代表と「ジャズが流れる夜のマルシェをやりたいね」という雑談から実現したのが「真夏の夜市」です。

岩槻家守舎主催の「プチマルシェ」にもたくさん出演したりWe're!企画の音楽部門のほとんどが岩槻Jazzさん中心で行っています。

We're! サポーター

- 上村茉由 (Kam Kam Creative)

ポスターなどのデザインでご協力を頂いています。



- 最強のサポーター家族

「岩槻を盛り上げたい」「もっといいまちにしたい」「子どもの成長とともに岩槻の発展を当事者として見届けたい」地域に飛び出す市民一体型公務員家族

- WATSU出店者協議会メンバー



2022年6月4日・5日

真昼の夜市

市民会館いわつき

<https://weare.iwatsuki.co/produce/vim-202202/>

真っ暗にした会場に暖色のイルミネーションを灯し雰囲気にあう音楽が流れる安らぎの空間。温かみを感じられるような雰囲気のマルシェ。



ポスターデザイン
上村明日香(岩槻家守舎)



2022年9月16日

真夏の夜市

岩槻クレセントモール

https://weare.iwatsuki.co/produce/manatsunoyoichi_20220916/

会場にイルミネーションを灯し Jazz や和楽器の演奏で会場を演出。お仕事帰り、学校帰り、お買い物のついでにふらっと寄れるマルシェ。



ポスターデザイン
鈴木真人(キラリいわつき)

ポスターデザイン
上村茉由(Kam Kam Creative)



2022年12月2日

美園トワイライトマ・マルシェ

浦和美園駅

<https://weare.iwatsuki.co/produce/report/misono-twilight-mamarche-report/>

日中に開催している美園マ・マルシェさんが大人向けのナイトマルシェを企画。イルミネーション装飾や音響機材を持ち込んでクリスマスソングを流したり We're! で会場の演出をさせていただきました。



ポスターデザイン
鈴木真人(キラリいわつき)



ポスターデザイン
上村茉由 (Kam Kam Creative)

2023年1月28日 福がくるくる万福マルシェ

岩槻クレセントモール

<https://weare.iwatsuki.co/produce/manpuku-marche/>

真冬のイベントは集客が見込めず出店者さんもあまり期待していないという。なら人が集まる企画をすればいいじゃん！という事で1ヵ月くらいで企画から本番



購入ポイントで抽選会に参加可能



道路にチョークで落書き



ポスターデザイン
上村茉由 (Kam Kam Creative)

2023年8月20日 グランマルシェ

岩槻栄町通り商店街

<https://weare.iwatsuki.co/produce/grandmarche-20230820/>

いつもは岩槻家守舎が主催でプチマルシェを開催。岩槻まつりバージョンでグランマルシェとし We're! が担当。



染物作家さんの作品を道路の天井に



会場入り口に出品内容が分かるA看板



ポスターデザイン
鈴木真人 (キラリいわつき)

2023年9月15日 真夏の夜市

岩槻クレセントモール

<https://weare.iwatsuki.co/produce/manatsunoyoichi-20230915/>

昨年大好評だった真夏の夜市。今年はさらにコンテンツを増やしチャレンジのイベントに。地下スペースも活用。ライブ第二会場や階段を座席にするなど新たな試み。



岩槻に活気工夫の催し



「こんなに賑わっている岩槻は初めて見た」

9月中旬、東武線岩槻駅東口で行われた屋外イベント「真夏の夜市」。会場を訪れた女子高生はそう話すと、目を丸くしていた。商業施設に挟まれた広い



岩槻駅周辺で開かれた真夏の夜市には大勢の人が集まった(9月16日)

「We're!」

(さいたま市岩槻区)

道路にライブステージが設けられ、キッチンカーや物販ブースが軒を連ねた。帰宅途中の学生や会社員が次々に足を止め、夜が更けるにつれて祭りのような雰囲気となった。

仕掛け人は、市民団体



岩槻家守舎のカフェに集まり、今後の活動について語り合うメンバーたち(10月19日)

「We're! (ワイアー)」。岩槻で開くイベントを企画し、メンバーの年齢は20代から60代と幅広い。2020年春に発足した。

新型コロナウイルスの感

染拡大が国内でも本格的に始まり、まちは活気を失っていた。「何とかしたい」。地域の情報サイト「キラリいわつき」を運営する鈴木真人さん(52)と、駅周辺でシェアオフィスやカフェ経営に携わる「岩槻家守舎」

の上村明日香さん(25)、金子慎太郎さん(38)が中心となり、テイクアウトできる地域の飲食店をSNSで紹介する活動を始めたのがきっかけだった。

コロナ禍で活動を一時中断したが、昨年秋季頃から本格的に活動を再開。今年6月には岩槻映画祭と連動したイベント「真夏の夜市」を開催した。会場となった文化施設の中でキッチンカーは呼べない。それでも室

のまちを盛り上げたいという思いさえあれば区外の人も大歓迎(鈴木さん)という。

問い合わせは団体ホームページ(<https://weare.iwatsuki.co/>)。

内を真っ暗にして雰囲気を出すと、イルミネーションを施したブースやSNS用に「映える」写真が撮影できるフォトブースを設置するなどして盛り上げた。

「岩槻のためにできることはないか」。同じ思いを抱く人はほかにもいて、ジャズイベント「岩槻Jazz」を長年開催してきた元教員の今村信哉さん(67)と妻の玲子さん(64)、地元商店主らと屋外市を開催している化粧品店経営の田中

隆介さん(42)らも団体に加わった。メンバーは定期的に集まって新たな企画を練ったり、他の地域に視察に行ったりしているという。

「大きくなって、小さな『楽しい』を岩槻のまちにたくさん作っていきたい」。鈴木さんはそう意気込みを語る。23日と24日は、岩槻駅東口のクレセントモールと岩槻モールで「小さなクリスマスマーケット」を開く予定だ。

交通、住宅変わる城下町

2020年国勢調査によると、さいたま市岩槻区の人口は11万1815人で、市内全10区では多い順に7番目。一方、人口に占める65歳以上の割合は今年9月1日現在で30・47%と全10区で最も高く、全国平均(8月1日現在)の29・1%も上回っている。

ただ、近年は東武線岩槻駅に急行電車が止まるようになって交通利便性が高まっている。駅周辺では大型マンションの建設や住宅整

備も行われている。古くからの城下町である岩槻も、変化の兆しが徐々に見え始めている。区外から転居してきたというメンバーは、岩槻家守舎の経営するカフェが気に入ったことがきっかけで「We're!」に参加したという。岩槻の印象について「暮らしてみると、イメージとは違って住みやすかった。古き良き人情が残るいいまちだ」と話す。

(児玉森生)



We're!
Let's hold hands

<https://weare.iwatsuki.co/>



イワツキ家守舎
iwatsuki yamorisya

<https://www.iwatsukiyamorisya.com/>



キラリいわたつき
岩槻情報サイト KIRARI IWATSUKI



<https://kirari.iwatsuki.co/>



<https://www.facebook.com/profile.php?id=100067577614655>

